

2026 年 8 月 3 日

株式会社コミュニティネットワークセンター

安全で信頼性の高い通信環境の提供に向け、RPKIに基づくROA登録とROVの運用を開始 ～不正または誤った発信元からの経路情報による通信への影響を軽減～

株式会社コミュニティネットワークセンター（本社：名古屋市東区、代表取締役社長：吉田和弘、以下「CNCI」）は、当社およびCNCIグループ各社が管理するIPアドレスについて、RPKI（Resource Public Key Infrastructure）に基づくROA（Route Origin Authorization）を登録するとともに、当社のネットワーク設備にROV（Route Origin Validation）を導入し、運用を開始しましたので、お知らせいたします。

RPKIは、IPアドレスなどのインターネット上の番号資源について、その割り当ての正当性を証明するための仕組みです。現在は主に、インターネット上でやり取りされる経路情報の発信元が正しいかを確認するために利用されています。

インターネットでは、相互に接続された各ネットワークが、IPアドレス宛ての通信をどのネットワークに送るかを判断するための経路情報を交換しています。誤った設定や不正な発信によって正しくない経路情報が流通すると、通信障害や意図しない経路への通信につながる可能性があります。

ROAは、特定のIPアドレスについて、どのネットワークが正規の発信元であることを示す情報です。ROVは、ネットワーク設備が受信した経路情報をROAの登録情報と照合する仕組みです。

これにより、ROAの登録情報に照らして無効と判定された経路情報を識別し、その経路情報を受け入れないなど、適切な経路制御を行うことができます。

これらの技術は、インターネットの安全性と信頼性の向上に寄与するものとして、国内外で導入が進められています。

CNCIは、当社およびCNCIグループ各社が管理するIPアドレスについて、正規の発信元ネットワークを示すROAを登録しました。あわせて、当社のネットワーク設備にROVを導入し、ROAの登録情報に照らして無効と判定された経路情報について、原則として受け入れない運用を開始しました。

これにより、不正または誤った発信元からの経路情報による通信への影響を軽減し、CNCIグループ各社のインターネット接続サービスをご利用のお客さまに、より安全で信頼性の高い通信環境を提供します。

本取り組みにより、以下の効果が期待されます。

- ・ CNCIグループが発信元となるインターネット経路情報の信頼性向上
- ・ 不正または誤った発信元からの経路情報に起因する通信障害およびセキュリティリスクの低減

今後もCNCIは、RPKIをはじめとするネットワークセキュリティ技術の導入・運用を推進し、安全で信頼性の高い通信基盤の提供を通じて、地域課題を解決するエキスパート集団として、地域とともにゆたかな未来づくりに貢献してまいります。

【お問い合わせ先】

株式会社コミュニティネットワークセンター

技術本部 神谷 TEL (052) 955-5163（平日 10:00-17:00）